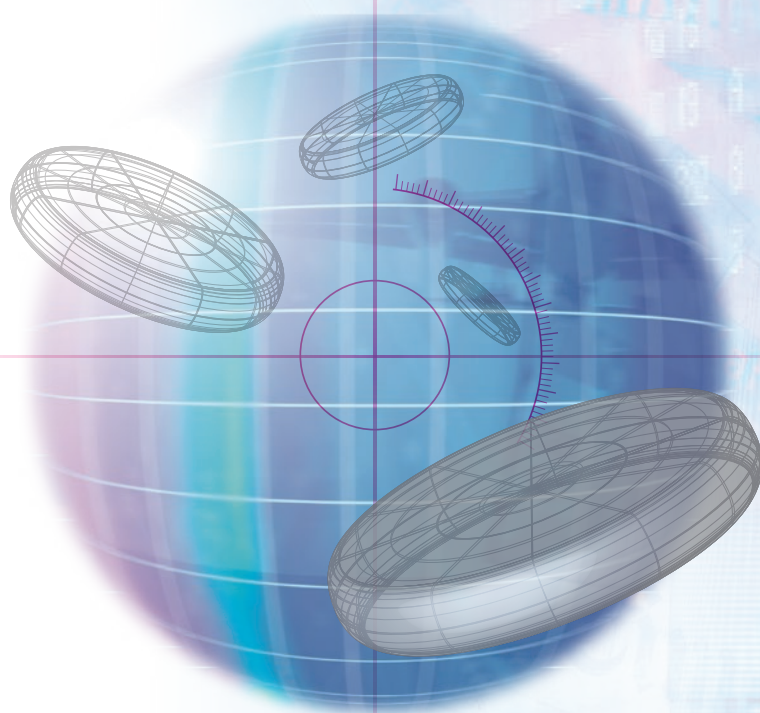


HIROHAMA

Corporate Guide



封じて守り、社会の安全に貢献します。

ヒロハマは「封印して中身を守る」缶のキャップを通じて、
社会に安全性と利便性を提供し、ひいては社会全体に安全と安心をお届けする仕事をしています。
長年の実績から生み出される製品には弊社独自の工夫とノウハウが込められており、
様々な部材や加工技術によって数多くの溶剤に対応することが可能です。
小缶・4リットル缶・18リットル缶・20リットルペール缶…日本経済の一角を支える幾多の缶を支えるキャップ。
缶キャップのヒロハマは、豊富なラインアップと蓄積された技術開発力でお客様と社会の信頼に応え、
缶による社会貢献を全面的に支援させていただきます。



ごあいさつ

代表取締役社長
廣瀨 庄一郎

この業界を取り巻く厳しい経営環境の中、今こそ真の意味での「会社の存在意義」を問われているのではないのでしょうか。
ヒロハマに課せられた使命は何か。それを全うするにはどうしたらよいか。私たちは次に掲げる経営理念のもと、日夜それを追求し続けてまいります。

経営理念

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つ全ての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理・原則にのっとって対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

会社概要

商号
株式会社 ヒロハマ

本社所在地
〒130-0011
東京都墨田区石原2-28-11
電話 03-3625-1680
FAX 03-3625-1688

創業
昭和22年11月

設立
昭和26年2月

資本金
6,250万円

代表者
代表取締役社長 廣瀨 庄一郎

従業員数
130名

営業所
東京営業所 東京都墨田区
大阪営業所 大阪府高槻市
千葉工場 千葉県船橋市
大阪工場 大阪府高槻市
製品研究所 千葉県船橋市

工場

主な製造・販売品目
①缶パーツ一式
②その他付属品一式
③関連機器
④EOE(イージーオープンエンド)

特許
特許・実用新案・意匠・
商標出願登録400件



本社外観

磨き上げた技術と不屈の開発力が、 幅広い分野の製品をつくり出します。

【営業品目紹介】

ヒロハマの製品は様々な分野で広く多くのお客様に親しまれてきました。

社会のあらゆる面に貢献する多彩な製品群は、磨き上げられた弊社の技術の賜物であり、これからもヒロハマは不断の開発を通じてより高度な技術、高度な製品を生み出し続けます。また最新鋭の設備を備えた工場は、毎分400個のキャップを製造する高速・高度な生産性を誇ります。

新開発製品

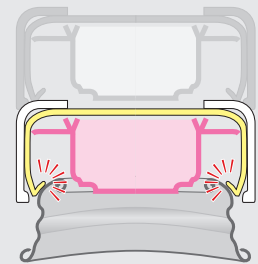
ポリツインキャップ APKパッキン仕様

ポリプロ
金属キャップ
旧型パッキン

【従来品の問題点】

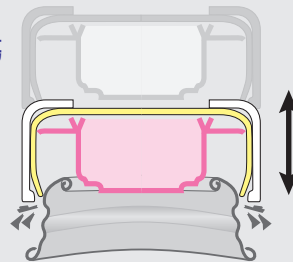
1 キャッピング時の爪折れ

従来品では…
キャッピング時、
爪折れする場合がある
(漏洩の原因となる)



2 口金コーティングの傷

従来品では…
ニス・口金ラミネートが
剥離する
(異物混入の原因となる)



3 嵌合と気密性能の矛盾

当社のポリツインキャップ APKパッキンがこれを解決・さらに進化しました。

ポリプロ
金属キャップ
新型APKパッキン

赤部分：新型APKパッキン

APKパッキンでは…

特殊形状の柔軟なポリパッキンで
キャップ下部をカバーすることにより

- 口金ラミネート・ニスの剥離が無く
異物混入&防錆効果がある
- キャッピング時に爪折れしにくい
- 嵌合値は従来品の約1/2で嵌め易い
- 耐圧・耐熱・耐荷重に優れている
- 外部キャップまでカバーする幅広い
ポリパッキンがより高い安全性を約束

黒部分：旧APパッキン

APKパッキンの特長

1

キャップ爪先端に樹脂製の
ガイド部を装着させ、
キャッピング時の爪折れを防止

2

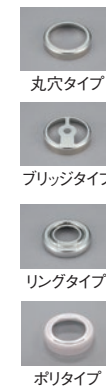
樹脂製のガイド部により
嵌合時は嵌め易く、
嵌合後は気密を高める機能を発揮

3

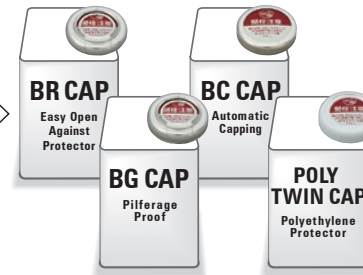
金属の爪が口金コーティングに
直接当たらないようになった
ことで、コーティング塗料の剥離と
内容物への混入を防止

缶 パーツ

【プロ】



【キャップ】



【口金】



【EOE】



	口 金		キャップ					パッキン		
	上カシメ	下カシメ	S	WP	BC	BR	BG	シート	ポリ	
40	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70		○	○	○	○			○	○	○
90	○		○					○		

針金手環	C210	C308
P手環	白	御愛用
押入金	DS10	DS08

缶 パーツ 関連製品



複合分野で世界に飛躍し、 相乗効果を生み出すヒロハマグループ。

東京営業所
大阪営業所
株式会社ヒロハマ

千葉工場
大阪工場



本社
東京営業所



千葉工場
製品研究所



大阪営業所
大阪工場

プラスチック (株)ヒロプラス

市原工場と長柄工場はヒロハマのプラスチック部門を担当しています。
(所在地：千葉県市原市、千葉県長生郡長柄町)



金属加工部門 (株)P・Sヒロハマ 八街工場

ヒロハマの多品種少量生産能力に大きく寄与しています。
(所在地：千葉県八街市)



金属加工部門 (株)P・Sヒロハマ 勝央工場

ヒロハマの中国地区での生産に寄与しています。
(所在地：岡山県勝田郡勝央町)



アルミイージーオープン (株)アルトップ

香辛料、ナッツ類の缶の部品を製造しています。
(所在地：福島県いわき市)



運輸／倉庫部門 (株)サブヒロハマコーポレーション

ヒロハマ製品のスピーディでスムーズな配送を可能にしています。
(所在地：(株)ヒロハマ千葉工場内・大阪工場内)



ヒロハマインディア

インドにて日本企業向けの貸事務所・アパートメントの運営、日本食用の食材を扱うなどの業務を行っています。(所在地：インド ニューデリー)



ヒロハマセイロン

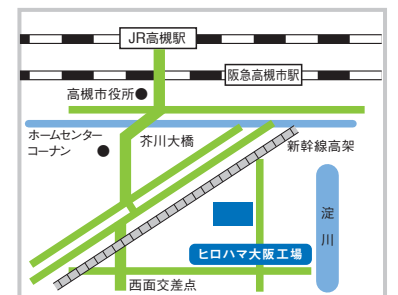
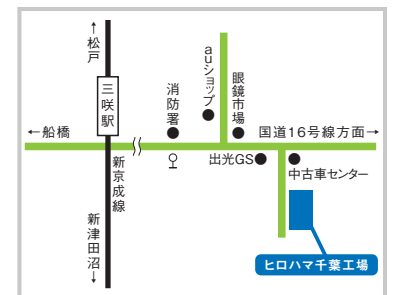
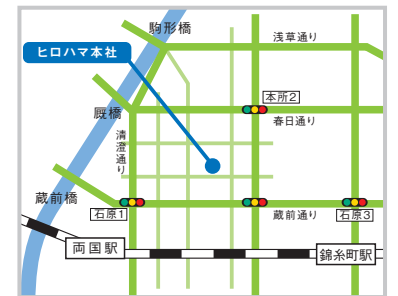
日本食レストラン「くふ楽」をスリランカへ展開しています。(所在地：スリランカ コロンボ)



ヒロハマの歴史、それは絶えまない 技術追求・革新・製品開発。

〔沿革〕

- 昭和22年11月 廣瀨製作所として創業
- 昭和26年 2月 廣瀨金属工業株式会社を資本金50万円で設立
- 昭和37年 9月 大阪工場開設
- 昭和43年10月 千葉工場開設
- 昭和50年 6月 BL口金の開発に成功 シーリングコンパウンドを不要とした製品の誕生となる
(東京商工会議所 会頭賞受賞)
- 昭和52年 4月 営業部門を分離、広浜商事株式会社を設立 営業活動開始
- 昭和54年 3月 BRプロテクターリング部の保護に成功 リング摘み周辺に山状の保護部を設け
リングの破損を防止した製品の誕生となる
- 昭和60年 5月 BGプロテクターの開発に成功 優れた封緘機能によって缶内容物の詰め替えを
防止した商品となる
- 昭和63年11月 千葉工場増設
- 平成 1年 7月 本社ビル完成
- 平成 2年 7月 物流部門として株式会社サブヒロハマコーポレーションを設立
- 平成 5年 2月 ラッカレスキャップの開発に成功 パッキンの落下を防止しリキャップ後の機能が
確実なものとなる
- 平成 9年 4月 プラスチック部門を分離 株式会社ヒロプラスを設立
- 平成10年 4月 廣瀨金属工業と広浜商事を合併 株式会社ヒロハマとなる
- 平成11年 4月 杭州広浜金属工業有限公司操業開始
- 平成14年10月 東京営業所・千葉工場ISO 9001 2000認証取得
- 平成15年10月 大阪営業所・大阪工場ISO 9001 2000認証取得
- 平成16年 1月 株式会社 P・Sヒロハマ八街工場設立
- 平成16年 7月 株式会社 P・Sヒロハマ八街工場操業開始
- 平成16年12月 APパッキン(現 APKパッキン)の開発に成功 キャッピング時の爪折れ防止と口金
のコーティング保護に貢献、また相反する嵌合・内圧機能を同時にアップさせた
史上類を見ない多機能製品となる
- 平成17年12月 東京営業所・大阪営業所・千葉工場・大阪工場ISO 14001 2004認証取得
- 平成20年 5月 ヒロハマインディア設立
- 平成24年10月 株式会社 P・Sヒロハマ勝央工場設立
- 平成24年12月 株式会社 P・Sヒロハマ勝央工場操業開始
- 平成26年 6月 杭州広浜金属工業有限公司撤退(工場売却)
- 平成27年10月 アジア金属工業株式会社より株式会社アルトップを譲り受ける
- 平成30年 3月 千葉工場 事務厚生棟建替
- 平成31年 3月 千葉工場 技術開発センター完成
- 令和 3年 8月 大阪工場建替・新工場完成





<http://www.cap-hirohama.com/>



本社 / 東京営業所 〒130-0011 東京都墨田区石原2-28-11
千葉工場 / 製品研究所 〒274-0812 千葉県船橋市三咲9-15-6
大阪営業所 / 大阪工場 〒569-0833 大阪府高槻市唐崎南1-55-1

TEL (03)3625-1680 (代) / FAX (03)3625-1688
TEL (047)447-1680 (代) / FAX (047)447-1688
TEL (072)678-1680 (代) / FAX (072)677-4117

